

ACCESS MAP



※職員寮は2棟あり、月額22,000円で利用が可能です。

募集要項の最新情報は
ホームページを
ご覧ください。
福井赤十字病院 研修医



令和7年度 初期臨床研修医募集要項

- | | | | | | |
|---|---|--|--|-------------------------------------|---|
| <p>1.募集定員</p> <p>Aプログラム 当院2年…………… 8名</p> <p>Bプログラム 1年次 当院/ 2年次 京都大学医学部附属病院…………… 2名</p> <p>Cプログラム 1年次 京都大学医学部附属病院/ 2年次 当院…………… 2名</p> | <p>2.応募資格</p> <p>令和6年度医師国家試験受験予定者 医師臨床研修マッチング協議会の 研修医マッチングに参加する者</p> | <p>3.出願書類</p> <p>①願書・採用申請書(指定用紙はダウンロード可能) ②履歴書(市販のもの、写真貼付) ③成績証明書 ④自己推薦書(A4用紙に志望理由、自己PR等)</p> | <p>4.出願方法</p> <p>3の出願書類を 「福井赤十字病院 人事課 医師臨床研修担当」宛に 簡易書留にて郵送ください。</p> | <p>5.選考方法</p> <p>書類選考、面接</p> | <p>6.病院見学</p> <p>随時受け付けています。 希望の日時と見学内容(見学希望診療科・内容など)を ご連絡ください。 また病院ホームページ「採用情報」からも申込が可能です。</p> <p>【連絡先】 人事課 医師臨床研修担当 TEL 0776-36-3630(代) E-mail jinji@fukui-med.jrc.or.jp HP https://www.fukui-med.jrc.or.jp/</p> |
|---|---|--|--|-------------------------------------|---|



初期臨床研修医募集案内



絆きずながある。



ステージがある。

輝かしい未来への第一歩を踏み出す

研修医の皆さんへ。

熱き理想に向かって、実り多い研修とするために、

当院の理念・基本方針に基づいた

様々なステージを用意しています。

About Red Cross Fukui Hospital

● 病院概要



理念

人道・博愛の精神のもと、県民が求める優れた医療を行います。

基本方針

- 患者さんの権利と意思を尊重し、協働して医療を行います。
- 安全と質を向上させ、優しい医療を行います。
- 人間性豊かで専門性を兼ね備えた医療人を育成します。
- 急性期医療・疾病予防・災害時医療に積極的に取り組みます。
- 保健・医療・福祉と連携し、地域社会に貢献します。

病院概要

病院名 …… 福井赤十字病院

所在地 …… 〒918-8501 福井県福井市月見2丁目4番1号

TEL 0776-36-3630(代) FAX 0776-36-4133

開設年月日 …… 大正14年4月1日

病院長 …… 小松 和人

許可病床数 …… 534床

診療科 …… 内科、精神科、神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、血液内科、小児科、外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、皮膚科、腎臓・泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、病理診断科、麻酔科、歯科、歯科口腔外科

職員数 …… 1,097名(令和6年1月1日)

- 日本医療機能評価機構による病院機能評価認定病院
- 原子力災害拠点病院
- 地域がん診療連携拠点病院
- 一次脳卒中センター(PSCコア施設)
- 地域医療支援病院
- 第二次救急指定病院
- 地域周産期母子医療センター
- 福井県ドクターヘリ受入病院
- 地域災害拠点病院

| | | |
|--|--|---|
| <p>医師数 155名 (令和6年1月現在)</p> | <p>研修医数 20名 (令和6年1月現在)</p> | <p>指導医数 52名 (令和6年1月現在)</p> |
| <p>脳卒中治療件数 516人 (令和4年度)</p> | <p>手術室年間手術件数 5,862件 (令和4年度)</p> | <p>ロボット支援手術件数 120件 (令和4年度)</p> |



Clinical Training Program

● 臨床研修プログラム

福井赤十字病院群卒後臨床研修プログラム

Program A 当院2年

2年間を福井赤十字病院で研修します。1年目は、必修科目の「救急部門12週間」、「麻酔科4週間」、「内科系24週間」、「外科4週間」および選択科目の研修を行います。2年目は、必修科目の「小児科4週間」、「産婦人科4週間」、「整形外科4週間」、「精神科4週間」、「地域医療4週間」、「保健医療行政2週間」および選択科目の研修を行います。

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|-----|----------------------------|----------|----------|---------|----------|----------|---------------------|-----|---------|--------|----|----|
| 1年目 | 内科系(24週) ※4月オリエンテーション含む | | | | | | 救急(12週) 救急外来(8週) | | 麻酔科(4週) | 外科(4週) | 選択 | |
| 2年目 | 小児科(4週) | 産婦人科(4週) | 整形外科(4週) | 精神科(4週) | 地域医療(4週) | 保健医療行政2週 | 選択 | | | | | |

※内科系24週とは、内科、神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、血液内科、腎臓内科から選択。
 ※精神科4週とは、松原病院、福仁会病院、福井厚生病院または福井大学医学部附属病院の内、1施設で研修。
 ※地域医療4週とは、織田病院、若狭高浜病院、今庄診療所、池田町診療所の内、1施設で研修。
 ※保健医療行政2週とは、丹南健康福祉センター(1週)、福井県赤十字血液センター(1週)にて研修。
 ※選択とは、内科・血液内科・神経内科・呼吸器内科・消化器内科・循環器内科・血液内科・小児科・外科・整形外科・脳神経外科・呼吸器外科・皮膚科・腎臓泌尿器科・産婦人科・眼科・耳鼻咽喉科・形成外科・麻酔科・救急科・放射線科・病理診断科・総合診療科・精神科・心臓血管外科の中から選択して研修。
 ※希望により第三次救急の日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院、もしくは、京都第一赤十字病院で4週間の研修が可能。

Program B 1年目 当院 / 2年目 京都大学医学部附属病院

1年目を福井赤十字病院で、2年目は京都大学医学部附属病院で研修します。
 1年目の研修は本院のAプログラムに沿って行い、2年目の研修は京都大学医学部附属病院の研修プログラムに沿って行います。

Program C 1年目 京都大学医学部附属病院 / 2年目 当院

1年目を京都大学医学部附属病院で、2年目は福井赤十字病院で研修します。
 1年目の研修は京都大学医学部附属病院の研修プログラムに沿って行い、2年目は本院のAプログラムに沿って行います。

Responsible Person Message

● 責任者メッセージ

赤十字の理念のもと、輝かしい未来のために。

当院は、赤十字の理念に基づき、地域の中核病院として質の高い急性期医療と災害時の救護活動の実践に努めています。当院では院内各科医師によるミニ講義を行い、知識向上とともに上級医との交流の機会としています。また、薬剤師や臨床検査技師などによる講義や新規採用者宿泊研修もあり、他職種とも顔馴染みになることができます。こうしたことがアットホームな研修環境を作り、協働するチーム医療につながると私達は考えています。まずは病院見学に、そして卒後臨床研修にお越しください。



RESIDENT PROGRAM FEATURES プログラムの特徴

| | | |
|---|--|--|
| <p>01 豊富な症例</p> <p>福井・坂井医療圏の中核病院であり、日常診療で遭遇する病気から、高度な治療を要する重症・難治性疾患まで様々な症例を経験できます。実際にたくさん症例を経験することが、あなたを成長させ、選択肢の多い研修を繰り返すことで、自分にあったキャリアを見つけることができます。当院は、バランスよく様々な経験を積むのに、最適な場所です。</p> | <p>02 充実した指導</p> <p>各科において専門医が揃っており、きめ細かい指導を受けることのできる体制と、診療科の枠を超えた全病院的指導体制を築いています。バックアップする上級医が多く在籍しているので、常に自己判断ではなく常に上級医と相談して診療しています。幅広く研修したい人にも、深く研修したいという人にも有意義な仕組みになっています。</p> | <p>03 自由度の高いプログラム</p> <p>研修医に必要な診療科を効率よく研修することができます。広い臨床能力の習得を目標としますが、選択期間が30~34週あり、専門研修で自分の目指す専門科への移行も容易です。研修医各自の希望を最大限に活かせるようにした、自由度の高いプログラムです。</p> |
|---|--|--|

仲間がいる。

大きく近づく医師への道。ともに成長したいという熱意を持った
たくさんの仲間があなたを待っています。

Medical Intern Introduction

● 研修医紹介

多彩な症例に触れ、
手技の経験を積み、
心強い指導医や仲間とともに
魅力ある研修生活が送れる。

当院での初期研修は、医師としての最初の2年間を自分のペースで成長できるというのが魅力の一つです。研修内容は個人の希望に合わせて柔軟に変更でき、やる気次第では様々な手技や学会発表などの機会もあります。
一方で、ワークライフバランスも整っており、自分の時間もしっかりとることができます。豊富な経験と熱心な指導、手厚いサポートにより、着実にスキルが向上していきます。皆さんと一緒に初期研修を当院で頑張りましょう！



令和5年度プログラム採用者
森田 孝明
TAKAAKI MORITA
(山口県出身 熊本大学卒業)

コメディカルと連携した
良好な環境の中で学ぶ
質の高い研修内容。

当院の魅力は、先生方をはじめスタッフ皆さんが優しく、協力的な環境で働けることだと思います。病棟業務で分からないことがあれば、コメディカルスタッフの皆さんが快くアドバイスをくださいます。
日々の診療や当直では、上級医の先生に相談できる体制が整っており、安心して診療にあたることができます。上級医の元で手技を行う機会や、毎月の研修医向けの講義も豊富であり、充実した研修医生活を送っています。



令和5年度プログラム採用者
高橋 美奈
MINA TAKAHASHI
(福井県出身 福井大学卒業)

Daily Schedule

● 1日のスケジュール

研修科：麻酔科

START

麻酔準備

毎朝、カンファレンスの前に手術で使用する麻酔器や麻酔薬、気管チューブ・喉頭鏡などの準備をします。



マンツーマン指導

モニターの理解、血液一般、生化学、動脈血ガス分析、心電図のデータ解釈についてなど、経験豊富な指導医がマンツーマンで指導してくれます。



麻酔科カンファレンス

当日の手術の麻酔方法やリスク、分担などを麻酔科医師と話し合い、確認します。

ICUカンファレンス

重症者や術後監視が必要な患者さんは集中治療室に入室となるので、麻酔科医師と看護師、リハビリスタッフで手術した患者さんの経過や手術予定者について話し合います。



麻酔導入&手術

モニターの装着・末梢静脈路の確保をします。その後は手術に応じて、気管内挿管などを行い、麻酔導入します。手術中はモニターや術野、患者さんの様子を注意深く観察して、安全に手術を行えるように麻酔薬や輸液を調節します。



術前診察

手術予定者の病棟へ行き、既往歴やアレルギーなどの問診を行います。

GOAL

カルテ確認&帰宅

手術予定者の術前カルテを記入・確認してから帰宅します。術前診察で血液検査や心エコーなどの術前検査が確認されていない場合は結果をチェックしておきます。



指導医からのメッセージ

しっかり準備をして、丁寧に手技を行っていました。短期間のうちに頼もしくなり成長を感じました。研修医での経験、知識が今後の診療に大いに役立ちます。こちらもサポートしますので、この調子で頑張ってください。

Daily Schedule

● 1日のスケジュール

研修科：消化器内科

START

病棟業務

患者さんの状態をカルテや診察で確認するところから一日が始まります。



上部消化管内視鏡検査

午前中は基本的に外来患者さんや入院患者さんの上部消化管内視鏡検査の見学を行います。また、時間を見つけて指導医のもとでモデルによる練習を行い、基本的操作を習得します。



下部消化管内視鏡検査、ERCP・ESDなど

午後は外来患者さんや入院患者さんの下部消化管内視鏡検査やERCP・ESDなどの見学を行います。

回診

指導医と担当患者さんの回診を行います。患者さんの状態に応じて今後の検査や治療の方針を立てていきます。



GOAL

カンファレンス

新規入院患者さんについて、今後の治療方針を消化器内科の医師全員で検討します。研修医も必ず担当患者さんのプレゼンを行うことになっているので、入念に準備をして臨みます。



指導医からのメッセージ

真面目に診療に参加し、忙しい中でも丁寧に診察されていました。治療方針も適切に判断できており、スタッフとのコミュニケーションもよくとれていたと思います。これからも頑張ってください。

成長を支える。

技術だけでなく、心と心の繋がりを大切に。必要時の相談はもちろん、
自らが考え実践できるように、若手・中堅医師たちが集う
「研修医養成プロジェクトチーム」があなたをしっかりとサポートします。

Message From The Instructor

● 指導医メッセージ

適切な状況判断と対応。 救急医療で養う総合力。

救急部 部長
嶋田 喜充
YOSHIMITSU SHIMADA



福井赤十字病院の救急医療はER型救急です。救急車やwalk-in患者を研修医が救急科専門医とともに初期対応にあたり、入院か帰宅、外来通院かを判断します。入院が必要な場合は各診療科にコンサルトします。

心肺停止から上気道炎、多発外傷、軽症から重症まで、各診療科の協力のもと受け入れています。外傷以外の小児は小児科が対応します。患者の多くは軽症・中等症ですが、重症ばかりが救急ではなく、一見軽症に見える疾患のなかに潜んでいる緊急度や重症度の高い疾患を見逃さないようにするのも救急です。同じ疾患でも発症パターンが違うこともあり、数多くの症例を経験することも重要です。

また、救急外来を受診する高齢者も増え、ひとつの傷病のみを持つことは少なく、多岐にわたる問題を総合診療科的に評価する必要があります。

このような考えのもと、診療科を問わず、幅広く診療することを目標に救急研修を行なっています。

どの診療科においても急変は起こります。自分の診療科疾患で入院しても別の疾患が生じることもあります。そのような時に専門外であっても、専門医が来るまで対応できるように、指導・サポートします。

● 研修医養成プロジェクトチーム 指導医メッセージ

経験を共有することで高まる 総合的・全人的な診断力。

研修医養成プロジェクトチーム 内科系
循環器内科 部長
皿澤 克彦
KATSUHIKO SARAZAWA



この2年間は、医師として、また社会人としての基礎を築く重要な期間。担当した患者さんは一人ひとりが永く記憶に残り、その病態理解・診療経験は、全てが貴重な財産となります。“Strike while the iron is hot.”この時期に多くの患者さんと出会い、様々な症例を経験し、それを共有することで、総合的・全人的な診療力を高めていけるようサポート・指導していきたいと考えています。ともに「善い医者」になれるよう、切磋琢磨していきましょう。

他職種と連携し育む 知識と技術と人間力。

研修医養成プロジェクトチーム 外科系
外科 部長
吉羽 秀磨
HIDEMARO YOSHIBA



患者さんを最善な方向に導くこと、それは医師一人ではできず、病院内の様々な専門職員とのチームワーク、さらには地域の社会資源との連携によって実現されます。自分が困った時、周りには相談できる人がたくさんいます。多くの患者さん、医療スタッフとの出会いの中で、医師としての基礎的な知識・技術を身に付けることはもちろん、社会人、そして医療チームの一員としての振る舞い方を学んでいけるよう、支えます。

Voice Of Graduates

● 修了者の声

マンツーマン体制と様々な経験で 将来を見据えた研修を実現できる。

当院は、指導医とのマンツーマン体制を基本としており、診療の基本的な知識・技能を身につけることができます。また、必修科を網羅した上で、自分の目標や進路、能力に合わせて自分だけのローテーションが組めるため、3年目以降の進路を決める際もスムーズでした。福利厚生も整っており、とても働きやすい病院だと思います。

視野を広げるチャンスも多く、救急科研修では都市部の京都第一赤十字病院にて三次救急も経験することができ、確実に研鑽になりました。

医学生へメッセージ

働く前はとても不安だと思いますが、当院には支え合える多くの友人や温かく見守ってくれる先生方がたくさんいます。実際の雰囲気は病院見学に来ないと分からないので、一度見学に来てみてください。県外大学生には旅費や宿泊費の補助もあります。



令和3年度修了者
中野 優也
YUYA NAKANO

専門研修プログラム（後期臨床研修）について

- 「内科」と「総合診療」の2つの領域で、当院が基幹施設となるプログラムを設けています。
- 基本の15領域では、県内外の病院を基幹施設とする各専門研修プログラムに連携施設として登録しています。症例数・指導医とも豊富であり充実した研修が可能です。

福井赤十字病院内科専門研修プログラム連携施設一覧

| | 令和6年度 | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|---------|--------|--------|------|--------|---------|----------|------|--------|-----|-------------|-----------|----------|------|-----------------------|
| | 県内 | | | | | 県外 | | | | | | | | | |
| | 福井赤十字病院 | 公立小浜病院 | 公立丹南病院 | 中村病院 | 福井厚生病院 | 福井循環器病院 | 敦賀医療センター | 織田病院 | 若狭高浜病院 | 林病院 | 京都大学医学部附属病院 | 京都第二赤十字病院 | 金沢大学附属病院 | 北野病院 | 日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 |
| 内科 | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ◆ | ◆ | ◆ | ◆ | ● | ● | ● | ● | ● |
| 総合診療科 | | | | | | | ● | ● | | | | | | | ● |

● 連携施設 ◆ 特別連携施設

当院が連携施設となっている基幹施設

| | 令和5年11月現在 | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-----------|--------|-------------|------------|-----------|-------|----------|----------|----------------|-----------------|------|------|---------|--------|---------|
| | 県内 | | | | | 県外 | | | | | | | | | |
| | 福井赤十字病院 | 福井県立病院 | 京都大学医学部附属病院 | 京都府立医科大学病院 | 京都第二赤十字病院 | 宇多野病院 | 金沢大学附属病院 | 金沢医科大学病院 | 兵庫県立尼崎総合医療センター | 日本赤十字社和歌山医療センター | 北野病院 | 住友病院 | 大阪赤十字病院 | 倉敷中央病院 | 大津赤十字病院 |
| 内科 | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● |
| 小児科 | ● | | ● | | | | | | | | | | | | |
| 皮膚科 | ● | | ● | | | | | | | | | | | | |
| 外科 | ● | | ● | | | | | | | | | | | | |
| 整形外科 | | | ● | | | | | | | | | | | | ● |
| 産婦人科 | ● | ● | | | | | | | | | | | | | |
| 眼科 | ● | | ● | | | | | | | | | | ● | ● | |
| 耳鼻咽喉科 | ● | | | | | | | | | | | | | | |
| 泌尿器科 | ● | | | | | | ● | ● | | | | | | | |
| 脳神経外科 | | | ● | | | | | | | | | | | | |
| 放射線科 | ● | ● | ● | | | | | | | | | ● | | | |
| 麻酔科 | ● | | | | | | | ● | | | | | | | |
| 病理 | ● | | | | | | | | | | | | | | |
| 救急科 | ● | ● | | | | | | | | | | | | | |
| 形成外科 | ● | ● | | | | | | | | | | | | | |

内科専攻医
竹部 万由
MAYU TAKEBE

私は当院で初期研修を行い、当院の内科専門研修プログラムを選択し令和5年度より消化器内科に勤務しています。

当院を選んだ理由は、まず雰囲気の良さです。各診療科の垣根がないため、専門医へコンサルトしやすく、看護師・コメディカルの方々も気さくに接してくれるので、アットホームな雰囲気の中で楽しく研修できています。また、当院は福井県の奨学金指定医療機関との連携があることも大きなポイントでした。研修期間は、基幹施設2年間+連携施設1年間です。症例数・指導医数ともに充実しており、医師としてのスキルアップの場として大変良い環境です。

色がある。 当院の特徴を生かした、様々な研修が可能です。

Facility Introduction

● 施設紹介

医療設備

11室の手術室、8床の集中治療室、12床の脳卒中ケアユニット、多列CT3台、3テスラMRI、1.5テスラMRI、放射線治療設備など、充実した設備、医療機器を研修医教育にも活用。様々な知見に基づく指導が受けられます。



高度先端医療

2016年2月に手術支援ロボット da Vinci Xi(ダヴィンチ)システムを前立腺がんを導入し、以後腎臓がん、膀胱がんにも適用範囲を拡大し、さらに2018年7月に福井県で初となる胃がん、10月には直腸がんに対するロボット支援下手術を行いました。導入して以来これまでに約720件を実施、今後も適応疾患、診療科を拡大していく予定です。豊富な経験を積んだエキスパート医師が指導に当たります。



スキルラボ

シミュレータなどが多数整備されています。シミュレータを使った練習を繰り返し、効果的に臨床技能を習得することができます。



図書室

休日も利用できる図書室には、オンラインジャーナルや医学関連雑誌が充実しており、文献の検索や国内外の図書の取り寄せも可能です。



縫合レクチャー

外科の専門医を持った指導医から、縫合・結紮といった実技指導があります。また、内視鏡外科手術のシミュレーターを用いて、いつでも自由にトレーニングを行える研修室もあります。



エコーレクチャー

放射線科医と超音波検査士に認定された技師による、研修医のためのエコーレクチャーです。実際の画像を見ながらレクチャーを受けます。



研修医室

研修医の皆さんのコミュニケーションの場となる研修医室は3室あり、各自の机が設けられています。1年目と2年目の研修医のみの部屋で相談しやすい環境です。



職員寮

病院から徒歩5分と15分の場所に各1棟あります。県外から来られる方も住まいの心配をせずに研修を始めることができます。月額22,000円で利用が可能です。



Lecture

● 勉強会

各種講義・検討会

研修医が救急外来で経験した症例について、主訴や所見から考えられる鑑別疾患を挙げていく、推論形式の検討会です。指導医からマネジメントに関するフィードバックがあり、内科診断学の考え方やcommon diseaseへの標準的な初期対応を学ぶので、次回の当直研修に活かされます。毎月3回の救急部の勉強会をはじめ、指導医による各種講義が毎月開催されます。「産婦人科や整形外科、脳卒中の救急」「胸部単純X線写真読影の基礎」「心電図の読み方」の講義など、経験豊富な指導医から丁寧に指導が行われます。他にも感染対策、予防医療、緩和ケア講習会など必須の研修会が数多くあります。



症例発表会

研修医が経験した症例について、学会同様に発表を行います。発表後も症例について積極的に議論がなされ、質問も飛び交います。実践しながらの症例発表が経験できます。



救急蘇生講習会

当院ではAHA(アメリカ心臓協会)認定のBLSやACLS講習会、日本救急医学会認定のICLS講習会などの各種講習会を院内インストラクターの指導のもとで受講することができます。受講料の補助制度もあります。



そうだから選んだ。

心にゆとりを持ち、前向きな気持ちで働けるよう職場環境の充実を図っています。

Working Conditions

● 待遇

| | | | |
|------|--|----------|---|
| 給与 | 1年目 365,000円/月額 2年目 385,000円/月額 | 当直 | 月に4回の当直(日直・宿直)を予定 【日直】上級医のもとで8時30分から17時00分まで 【宿直】上級医のもとで17時00分から翌8時30分まで ※宿直後は午後から休むことが可能 |
| 賞与 | 1年目 400,000円/年※予定額 2年目 600,000円/年※予定額 | 社会保険 | 健康保険、厚生年金、労災保険、雇用保険等 |
| 各種手当 | 当直手当(1年目:日直21,000円、宿直27,000円/ 2年目:日直22,000円、宿直28,000円)、通勤手当、 時間外手当、住居手当(上限28,500円 ※職員寮利用を除く) | 医師賠償責任保険 | 団体保険は病院で加入 ※個人保険の加入は任意 |
| 独身寮 | 全51室(月額22,000円)あり ※空室があれば入居可 | その他 | 研修医専用医局、専用机あり 学会、研究会への参加可(規則により旅費を支給) 院友会(職員互助会) ●運動部(野球・マラソン・バレーボール・ ソフトバレーボール・テニス・フットサル・ バスケットボール) ●文化部(写真部・囲碁部・映画・観劇鑑賞補助) ●職員旅行(日帰り～3泊4日/国内・国外) 職員用食堂 医局親睦会あり |
| 勤務時間 | 8時30分～17時00分 | | |
| 休暇 | 土・日・祝日、及び 日本赤十字社創立記念日(5月1日)、 年末年始(12月29日～1月3日)、 年次有給休暇、特別有給休暇(結婚、忌服等) | | |

Work Environment

● 職場環境



職員食堂



院内保育所(夜間保育もあります)



スポーツ大会



カフェ



コンビニエンスストア



職員旅行

Q & A

● 初期研修 Q & A

Q. 当直中の研修医が「救急対応する平均件数」「研修医の役割・患者対応」について具体的に教えてください。

A. 救急車は夜間1日平均2～4台で、ウォークインの患者さんも多いです。17時からの当直時間帯は、内科系・外科系の2つに分かれており、1名ずつ上級医が担当します。研修医はその医師のもとで月4回ほど当直に入ります。当直中、初期対応は研修医が行いますが、21時までは救急専門医もおり、当直中に脳卒中ケアユニット、小児科、産婦人科の救急案件があればその科の医師にコールします。

Q. 「研修医の雰囲気」「どんな人が病院に向いているのか」教えてください。

A. 全国から研修医が集まる当院では、出身大学にとらわれないオープンな雰囲気と明るさがあります。多職種との垣根も低く、指導医やコメディカルスタッフも優しく話しやすい方が多いです。各科で積極的に手技をさせてくれるので、積極性のある研修医は大きく成長できる環境ですし、また自分のペースでみっちり研鑽を積みたい方も、将来へ繋がる基盤を作ることができます。

Q. 休日はどのようにリフレッシュしていますか？また、院外での学会発表等の機会はありますか？

A. 福井では釣りや登山 スキーなど、海から山まで楽しむ、季節に応じて良いリフレッシュができます。昨年京都で開催された日本赤十字医学会総会では、指導医支援のもと症例発表を行いました。他にも東京本社にて全国赤十字病院の研修医が集まる研修会もあります。当院は出張旅費支給もあり、学会発表経験の機会にも恵まれています。



Q. 当直中、上級医や指導医へ相談できる環境がありますか。

A. 上級医とともに当直に入り、初期対応は研修医が行いますが、基本的に受け持った患者さんの診察や救急対応、入院・帰宅の判断については、その場で上級医から指導を受けます。救急患者さんを診る機会も多く、初診の段階から研修医が主体的に診断、治療を経験でき、なおかつ上級医のバックアップ体制がとられており安心して研修ができます。

Q. 病院見学の際に何科を見学すべきか悩む医学生が多いので、「研修医の先生から医学生におすすめする見学科と理由」を教えてください。

A. 救急の見学がおすすめです。救急は、研修医が主体的に考え行動する姿や指導医・スタッフとのやり取りを身近に見学することができ、研修や病院の雰囲気が分かりやすいからです。もちろん将来進みたい科を見学するのもよいと思います。救急は午後しか見学できないため、午前中に他の希望する科を見学することも可能です。

Q. おすすめの場所を教えてください。

A. 当院には「さくら」という職員食堂があります。栄養を考えて作られている日替わりの定食やサラダバー、ボリューム満点の丼ぶり定食など様々な食事が楽しめます。また、タリーズコーヒーでも、ほっと一息できる癒しタイムを過ごせます。晴れた日の屋上庭園は、爽やかな風がとても気持ちよく、密かに人気です。



日替わりランチメニュー
①肉or②魚の2つのメニューから
選択することができます。

その他、そばや院長オススメの「おろしラーメン」等もあります。

